

PRIMERGY RX1440 M2/RX2450 M2

ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX1440 M2/RX2450 M2 に関して、留意・注意事項がございます。
製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

本文中の OS 名称は、次のように略して表記します。

OS 名	略称	
Windows Server® 2022	Windows2022	Windows
Red Hat Enterprise Linux® 9.0	RHEL9.0	RHEL
Red Hat Enterprise Linux® 8.6	RHEL8.6	RHEL
SUSE® Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4	SLES15SP4	SLES
VMware vSphere® ESXi 8.0	VMWare 8	VMWare
VMware vSphere® ESXi 7.0 Update3	VMWare 7.0	VMWare

本文中の用語は、次のように略して表記します。

用語	略称
System Event Log	SEL
ServerView Installation Manager	SVIM

【制限事項】

RX1440 M2/RX2450 M2 の記載がない場合には、全装置に対する制限事項となります。

1. BIOS パスワードの最短文字数について

BIOS 仕様で BIOS のパスワード長は 8-32 文字と定義していますが、8 文字(最短)のパスワードはご利用できません。

BIOS パスワード設定時には、9-32 文字でご利用ください。

2. Microchip Smart RAID カード搭載時の SEL について

Microchip Smart RAID カード(PRAID EP325x および PSAS GP2xxx) [PY-SR4MA1/PYBSR4MA1L, PY-SR4MA2/PYBSR4MA2L, PY-SR4MA3/PYBSR4MA3L, PYBSR4MA4L, PY-SC3MA2/PYBSC3MA2L,

PY-SC4MA1/PYBSC4MA1L, PYBSC4MA2L, PYBSC4MA3L]が搭載されている場合、物理ドライブが取り外されていなくても、以下の Info レベルの SEL が記録されることがあります。

"Physical disk in slot X removed"

Microchip Smart RAID コントローラがビジー状態時に誤った情報を応答することがあるために出力されるメッセージです。機能に影響はありませんので、そのままご使用ください。

3. Temperature Sensors の Fail Reaction の設定について

iRMC Web インターフェースの「System>Cooling>Temperature Sensors」で、以下の温度センサの Fail Reaction として Shutdown を設定することはできません。

OCP NetCore, OCP NetPort, GPU, NetCore, NetPort, PSU Inlet, PSU, FBU, RAID Controller, Expander, HDD, SAS_SATA_SSD, PCIeSSD, M2 SSD PDUAL, M2 PCIeSSD, PCIe Switch, PVDD_xxxOS

温度異常は SEL で検出できるので、Shutdown のアクションは Redfish/iRMC Web インターフェースで実行してください。

4. OS に ASPEED driver をインストールしたときのマウスカーソル表示について

OS に ASPEED Graphics Driver がインストールされている場合、AVR 画面にはサーバの OS のマウスカーソルは表示されません。

iRMC Web インターフェースの「Settings>Services>Advanced Video Redirection (AVR)>Default Mouse Mode」はデフォルトの "Absolute mouse mode" でご使用されると、AVR 画面に iRMC Web インターフェース操作端末のマウスカーソルは表示されます。"Other mouse mode" に設定を変更すると iRMC Web インターフェース操作端末のマウスカーソルも表示されません。

5. iRMC Web インターフェースの PCIe NetCore での I350-T4 カードの温度非表示について

システムの PCIe スロットに I350-T4 カード [PY-LA264/PYBLA264/PYBLA264L] を搭載すると、iRMC Web インターフェースの「System>Cooling>Temperature Sensors」に NetCore 温度が表示されない場合があります。I350-T4 カードは熱量が高いコンポーネントではないため、システムへの影響はありません。

6. ドライバモニタでスロット位置の誤表示について (RX2450 M2)

RX2450M2 システムにおいて Slot2 または Slot8 に Riser モジュールを搭載している場合、

iRMC のドライバモニタ画面および SEL にて、Slot3 に搭載されているカードの搭載位置が Slot2 と表示され、Slot9 に搭載されているカードの搭載位置が Slot8 と表示されます。

ドライバモニタ画面および SEL にて搭載位置を確認する際には、スロット番号を読み替えてください。

表示 読み替え後

slot#2 slot#3

slot#8 slot#9

7. Micron NVME M.2 を搭載している場合の SVIM 上での表示について

Micron NVME M.2 [PY-BS48PEA/PYBBS48PEA, PY-BS96PEA/PYBBS96PEA]を搭載している場合、SVIM 上で M.2 の容量が 0GB と表示され、SVIM のクイックモードでの OS インストールができません。

Micron NVME M.2 を搭載し、SVIM を使用して OS のインストールの際には guide mode をご使用ください。

8. SVIM V14.23.12 を使用した Windows Server インストール時の VGA 上のマウスカーソル表示について

Windows Server を SVIM V14.23.12 を使用してインストール時に、インストールした Windows Server 上でマウスカーソルが正常に表示されずに四角に表示されます。

Windows Server インストール後に以下のサイトから 1.15 以降のバージョンの ASPEED Graphics Windows WDDM Driver をダウンロードしてインストールしてください。もしくは SVIM(v15.2)以上をご使用ください。

<https://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

9. SVIM V14.23.12 を使用した Windows Server インストール時に Advanced Video Redirection(AVR)上のマウスカーソル表示について

SVIM V14.23.12 を使用して Windows Server をインストールすると、Advanced Video Redirection(AVR)上でマウスカーソルが表示されません。

Windows Server インストール後に以下のサイトから 1.15 以降のバージョンの ASPEED Graphics Windows WDDM Driver をダウンロードしてインストールをしてください。もしくは SVIM(v15.2)以上をご使用ください。

<https://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

10. 停電復旧後、電力復元ポリシーによる自動的な電源投入について

iRMC Web インターフェースの「Settings>Power Management>Power Restore Policy」で“Always power on”が設定された状態、または“Restore to powered state prior to power loss”を設定しサーバの電源が投入された状態で停電復旧すると自動的にサーバの電源が投入されますが、稀に自動的にサーバの電源が投入されないことがあります。

この状態になった際は iRMC Web インターフェース/redfish または ID ボタン長押しによって iRMC をリセットすることでサーバの電源が投入されるようになります。

11. BIOS メニュー上での CPU 周波数の表示について

BIOS メニューの SystemInformation 内にある Processor Speed の表示が、本来カタログに記載の CPU の周波数が表示されるべきところ、CPU の現在の動作周波数が表示されます。

カタログに記載の CPU の周波数は、iRMC Web インターフェースの System>System Board>CPU の詳細表示画面でご確認ください。

【留意事項】

RX1440 M2/RX2450 M2 の記載がない場合には、全装置に対する制限事項となります。

12. BIOS の Determinism Slider が Performance 時の消費電力の閾値超えについて

BIOS メニューの「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Performance"が選択されている場合、CPU は性能を優先するため消費電力が iRMC Web インターフェースの「Settings>Power Management>Power Consumption Control」で設定したしきい値を超える可能性があります。

BIOS メニューの「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Performance"を選択する場合には、iRMC Web インターフェースの「Settings>Power Management>Power Consumption Control>Action Reaching Power Limit」で"Graceful Power Off"や"Immediate Power Off"を同時に設定することを推奨します。

iRMC の Power Consumption Control で設定した閾値で消費電力を抑えるには、BIOS メニューにて「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Power"を選択してください。

13. NMI ボタンを押下した後の SEL 出力について

NMI ボタンを押下した後に以下の SEL が出力される場合があります。

機能に影響はありませんので、そのままご使用ください。

Generic IPMI event: GenId 'SMS', SensorType '0x30', EventType '6F', SensorName "", EventData: 01 FF FF

14. M.2 SATA SSD のスロット番号が表示されない

オンボード SATA コントローラに M.2 SATA SSD が接続されている場合、iRMC Web インターフェースにてストレージデバイスのスロット番号が表示されません。

これは、コントローラのドライバから情報を取得できないためです。

iRMC Web インターフェースに表示されるシリアル番号情報からデバイスの特定を行ってください。

— 以上 —